

氏名	細 谷 茂 衛		
学位(専攻分野の名称)	博 士 (医 学)		
学位授与番号	博 乙 第 2354 号		
学位授与の日付	平成 3 年 12 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	間質性肺疾患における肺胞マクロファージに関する研究 第 1 編 肺胞マクロファージの機能, 胞体内ライソゾーム酵素活性, 膜表面抗原の検討 第 2 編 サルコイドーシスにおける肺胞マクロファージ活性と疾患活動性との比較について		
論文審査委員	教授 太田善介	教授 赤木忠厚	教授 辻 孝夫

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

気管支肺胞洗浄法の開発により肺局所のマクロファージを直接的に採取することが可能となり, 肺胞マクロファージの形態や機能に関する多くの知見が集積されてきた。今回サルコイドーシス等の間質性肺疾患の病変形成におけるマクロファージの関与を明らかにするため肺胞マクロファージの機能および動態について検討した。

サルコイドーシス, 特発性間質性肺炎, 過敏性肺臓炎において走性能, 貪食能の亢進, 胞体内ライソゾーム酵素活性の低下, CD15陽性マクロファージの増加が認められ, 末梢血単球の肺への動員亢進が示唆された。また膠原病性間質性肺炎において貪食能, 胞体内ライソゾーム酵素活性の低下が認められ, 肺胞マクロファージの機能低下が窺われた。次にサルコイドーシスの疾患活動性を反映する臨床検査成績と肺胞マクロファージ機能異常との関係を検討したが, 脾腫大,  $^{67}\text{Ga}$  シンチグラフィー, PPD 皮内反応との間に関連が見られた。更にサルコイドーシス病巣より高濃度, 高頻度に分離される *Propionibacterium acnes* による肺胞リンパ球幼若化反応においてマクロファージが helper cell として作用していることが窺われた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はサルコイドーシス等の間質性肺疾患の病変形成におけるマクロファージの関与を明らかにするため肺胞マクロファージの機能および動態について検討したものでサルコ

イドーシス病巣より高濃度，高頻度に分離される *Propionibacterium acnes* による肺胞リンパ球幼若化反応においてマクロファージが helper cell として作用していることなどを示した価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。